

和歌山病院での実習を終えて



宮井 佑也

6月28日と29日の2日間、呼吸器内科のポリクリの一環として、国立病院機構 和歌山病院で病院実習をさせていただきました。南方院長先生による胸部 X 線の読み方の講義、駿田副院長先生による結核の病態、診断、治療方法などに関する講義と結核病棟の見学、柳本呼吸器センター長による呼吸不全患者への対応に関する講義など、非常に盛りだくさんの2日間でもって勉強になりました。和歌山病院の新病棟はとても綺麗で、働かされているスタッフの方々の表情がとても明るかったのが印象的でした。病院に通院、入院する患者さんにとって、病院が綺麗でスタッフが明るいということは、とても良いことだと思います。そのような病院を創り上げている院長先生をはじめとした先生方は私たち実習生に対しても、とても丁寧に分かりやすく講義をしてくださいました。きっと、外来の患者さんや入院患者さんに対してもきっちりと丁寧に診察、説明、回診などをされているのだろうと感じました。私も先生方のような医師になれるように日々努力していきたいと思います。最後に、2日間私達のためにお忙しい時間を割いて密度の濃い実習を提供してくださり本当にありがとうございました。